広報 南国
編集発行 南国市役所 電話(代表)451番
印刷所 安岡印刷所

広報は…………みんな
読むもの…………つくるもの

久礼田上水道起工

工費一、三三〇万円で

久礼田地区の簡易上水道起工式は一月二十五日、配水池建設予定地で西村市長、野口議長ら市関係者と、各方面の来賓を迎えて行なわれ、明年完成とともに、関係住民三千五百人の長年の悩みも根こそぎ解消することとなつた。

同工事は総工費一千三百三十万円。

まず取水池と配水池の建設を行ない、三十五年度に配水管埋設、ポンプなど諸機械の据付を完成することになつている。

主な工費次のとおり。

取水池九十八万円、配水池三百三十一万円、ポンプ四百七十万円、滅菌装置三十一万円、送水管三百二万円

同和対策審議会結成

—専門部もつくる—

市内の同和行政と同和教育を積極的に推進するための同和対策審議会委員は、このほど市議会、教育関係者、学識経験者などから約二十人が選ばれ五日組織、役員を選任した。

近く対策三カ年計画もたてることになつている。

委員長＝吉村雅男、副委員長＝西村一之、沢田武彦

産業経済部長＝谷田豊喜、厚生部長＝橋田信夫、教育部長＝福川藤茂

幹事＝小笠原豊暢、村山忠夫、浜田義満、山本知一

委員＝野口幸重、久米徳幸、吉本豊（以上市議）、中村二郎、入野照喜、大前正男、川村秀一（以上教育関係）、池知秋水、関川豊茂、金堂福重、坂本源吉（以上学識経験者）

南国市婦人会連合会結成

会員約七千人の南国市婦人連はさる三日、後免野田小学校で結成された。

市から補助金六万八千円を受けて活動することになつている。

現在決めている事業はモデル婦人会の指定、青年団や教育委員との話し合いなど。

会長＝岡林政衛、副会長＝小松千代、浜田亀子、会計＝中沢道子

水道を大切に

市役所から呼びかけ

寒くなつて水道の水が出にくくなる場合が多くなつているが、市役所水道係は次のように、大事にあつかつて使つてほしいといつている。

▽出ている部分にワラや布を巻いて凍らさないようにする。▽出ないときは無理にセンをあけずに、湯をかけてやつてから使う。

社会体育指導委員決まる

三宮寛（日章－剣道）、橋本国雄（後免－同）、浜田淳作（前浜－民踊）、窪川弘（大篠－ソフトボール）、中沢順之助（稲生－民踊）、村田導（十市－全般）、中村豊照（三和－バレーボール）、宮本芳子（後免－民踊）、高橋学（東崎－卓球）、吉村雅雄（四区－柔道）、

浜田良明（国府－陸上野球）、久米徳幸（久礼田－野球）ソフト）、橋詰哲夫（植田－同）、中司弘光（白木谷－バレーボール）、西岡輝盛（外山－フォークダンス）、島井幸治（岡豊－全般）三宮陽（野田十同）、今井昭夫（岩）、川村正一（伊達野－全般）

才入出一、六三〇万円

上水道特別会計予算

南国市上水道特別会計予算の本年度分はさきの市議会で才入出一千六百三十万円に決まつた。内容は次のとおり。（単位千円）

〔才入〕使用料手数料一、三四〇、国庫支出金三、二五、県支出金九五〇、繰入金二、一八三、市債八、五〇〇、雑収入一、

〔才出〕上水道費一五、六八三、公債費五八八、予備費二七、

一二三万円

ダム対策予算も決定

三十四年度の穴内川ダム対策特別会計才入出予算も、さきの市議会で百二十三万八千八百円に決まつた。

内訳は才入で繰入金百二十三万八千八百円、才出で委員会費五十七万八百円、事務局費四十五万三千円、調査費二十一万五千円。

小学生体育大会成績

一月十八日の南国市小学生体育大会の成績次のとおり。

マラソン

1武内光仁（白木谷）、2和泉政広（国府）、3川添賢（岡豊）、4浜田彰（岡豊）、5坂本任（久礼田）、6和泉周民（国府）、7中沢信幸（稲生）、8岡本守雄（大篠）、9中沢富男（岡豊）、10岩崎雅彦（長岡）

ドツジボール

〔男子〕1岡豊、2日章、3大篠、3後免野田

〔女子〕1岡豊、2長岡、3久礼田、3三和

恵まれぬ子らにプレゼント

上野田婦人会の人たちは一月下旬、高知市愛仁園をたずね、恵まれぬ子らに座ぶとん、衣類など百点余りを贈つた。

これよりさき会員たちは同園を慰問して、資金が少くてみじめな暮しをしているのを知り、この冬をいくらかでも暖かくすごしてもらおうと、座ぶとんづくりや衣類集めをやつたもの。

応募二八七人

市の職員採用試験

市では一般事務、技術関係の職員を採用するため一月三十日後免野田小学校で第一次試験―一般教養―を行つた。

採用者は十人余りといわれるが、応募者は男女合せ二百八十七人にのぼつた。

公平をはかるため、試験問題の作製や実施は県人事委員会に委嘱された。

なお第二次試験―口頭など―合格者は、市に登録、欠員に応じ採用される。

照明コンクール

売り上げを高めるための「照明コンクール」が近く後免地区の商店街で行なわれることとなつた。

これは四国電力のキモ入りで市商業経済課との話合いで具体的に実施方法が決められる。

優秀なものには四電から賞品も贈られる。

従来高知市に奪われていたお客も照明の工夫によつて魅力をませば、かなり食い止められる見込みである。

共同研究課題

嶺南農研で決める

市北部の嶺南農研会三十五年度共同研究課題は次のとおり決定した。

水稲の増収安定

室内育苗による試験研究（室内育苗器による無仮植試験、品種の比較試験、OED使用試験、栽植密度試験）

畑苗代（苗代様式の比較、品種比較試験）と陸稲早期栽培試験研究。

二期作稲の安定増収（品種と苗代日数の試験、畑苗代の試験研究、栽植密度試験）

深耕による増収安定（深耕用トラクター水田発破の効果試験）

病害防除による増収安定（共同防除組織の充実整備、抗生物質による白葉枯病防除、イモチ病防除、薬面撒布効果）

肥培管理の研究（施肥量と時期の影響研究、中耕除草の回数と収量の関係）

果樹の振興と増収安定（カンキツ類はモデル園の設置、試作園の設置、集団化と共同機械施設、新農薬と摘果効果、肥料試験－落葉果樹はブドウのビニール栽培試験、ブドウジベレリン使用試験）

蔬菜園芸の振興（セロリの試作圃設置、里イモに対するジベレリン、土壌資材の消毒、各種ソ菜の病害防除）

農機具関係（耕運機の稼動時間調査、穀物乾燥機と乾燥剤の使用価値試験）

簿記、記帳、営農設計

酪農関係（飼料作物の比較試験－収量と栄養価）

鹿児島のお客

鹿児島県町村議会議長会の一行三十五人は一月二十八日来市、南国市の園芸など産業事情を視察した。

農地の潰廃と轉用

農地を住宅や工場、学校などに転用する場合は、ご存じのように農林大臣か知事の許可を受けなくてはならない。

その転用を許可するかどうかを決めるため、こんど許可基準がつくられることになつた。

転用によるあらゆる弊害や悪影響を防いだり、それらをいくらかでも少くするのが狙いになつている。

以下市農業委員会の資料によつて説明してみよう。

〔転用許可基準の内容〕

(1)都計や工場立地などの計画は、前もつて農業面のことを考えておき、関係機関で話合つてそれぞれの計画の調製をとる。

(2)農業上の必要性と、周りがどんなに宅地化されてきているかという面から原則として転用を認めない土地、事業の種類と事情によつて転用を認められる土地、転用を原則として認めていく土地の三つに分け、これを順に第一種、第二種、第三種農地と呼び、第三種から順に転用されていくように定められる。詳しくいうと

〔第一種〕

生産力の高い、土地改良事業、開拓事業などの農業投資が行なわれた農地のほか集団的になつている農地である、

しかし第二、第三種にあてはまるものは除かれる（例ガスがついている土地は第二種）。

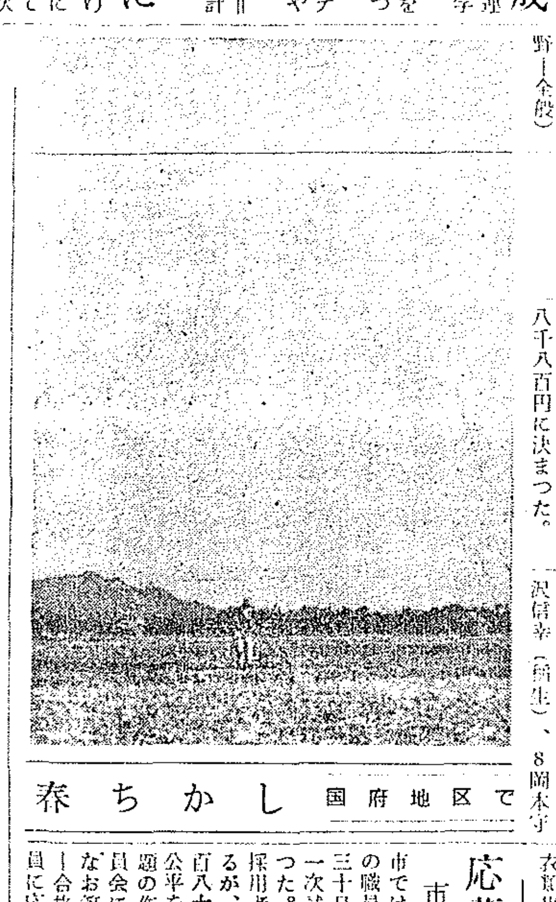
しかしまた、道路、水道などのように、どうしても第一種農地をさけることのできないような場合など、土地収用法に定められた事業の場合は転用がみとめられる。

〔第二種〕

港や工業用水道、道路、排水路など工場を動かすに必要な施設が統合的に整えられているところの農地とか生産力低く土地改良もやつてない小団地の農地をいい広い面積を必要とする大規模な施設で市街地の中で適当な土地がみつからなかつたり、衛生上の問題から、市街地の中に入りこめない場合など、また第三種農地に設けることが困難であつたり不適当な場合転用が認められる。

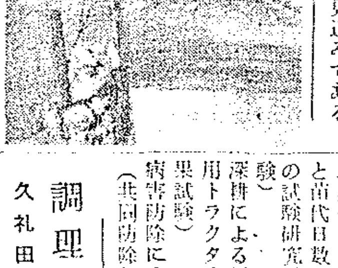
〔第三種〕

土地区画整理事業が行なわれ、道路が整然とついている区域。ガスや水道、下水道がついて住宅地としての条件が整つている場所。駅や港、また市町村役場などの公共施設が近くにある場所の農地とか、すでに附近が宅地化して街の中に取り残された農地などのように将来当然市街化される予想のできる農地は原則として転用が許可される。



春ちかし　国府地区で

農道改修〜県道舗装



市の中央部後免地区と南部の海岸地帯を直線的に結ぶ県道後免－浜改田線は次々に拡幅工事が進められ三十五年度中に終了する予定だが、すでに改修したところは昨年秋からコンクリートの舗装が始められている。

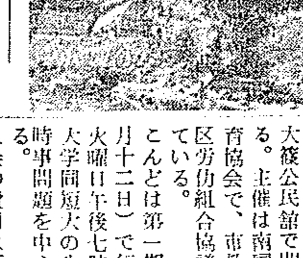
里改田協和農機前から北へ約七百メートルの間で工費は約六百万円といわれる。

残りも三千万円近くを投じ二、三年のうちに完成の見込み。

また北部瓶岩地区でも新農村建設事業の一つとして楠線農道が完成、増産に一役買うこととなつた。

総工費は四十万二千円で、延長百十六メートル、幅二メートルのもの。

完年によりこの地区の耕地経営は労力の節減となり、このため作物に手が回るところから米でも毎年千数百キロ増産される。



写真上は後免－浜改田線の舗装状況、下は瓶岩の現場

調理室建設

久礼田小学校に

久礼田小学校の給食調理室は近日起工される運びとなつた。

建坪十一坪のもので、工費四十八万円の予定。

三月末までに完成し、新学期から給食のはず。

国府小給食室完成

総工費七十万円で工事中の国府小学校給食室ならびに小使室はこのほど完成し、二十六日完工式を行つた。

面積は延べ七十二・六平方メートルで、給食は重油バーナーを使つてつくり児童百十二人に配給される。

仂くものの学校

南国市勤労者学校開設

市の労仂者や婦人、青年層を対象とする南国市勤労者学校は一月二十六日夜から大篠公民館で開設されている。主催は南国市勤労者教育協会で、市教委と後免地区労仂組合協議会が後援している。

こんどは第一期（一月－四月十二日）で毎月二と四の火曜日午後七時から、高知大学岡短大の先生たちから時事問題を中心に講議される。

入会の費用は百円で、後免町西町、土長教育会館内の同会事務局が申し込みを受付けている。

全校長が提出

難航を極めた勤評書

長い間ごたごたしていた小中学校教職員の勤評書は岡市教育長の努力と、その呼びかけに応じた小、中学校長の決断により一月三十一日に全部県出済みとなり、ようやく終止符が打たれた。

一位は三和OBと岡田君

楠瀬協和農機社長の楠瀬杯争奪第十回卓球大会はさる二十四日三和の公民館で行なわれ、熱戦の結果、次のように成績が決まつた。

団体 ①三和OB、②学生チーム、③里改田OB、④三和青年団

個人 ①岡田数美、②松木郁夫、③永井誠、④戸田柳喜

こだま

春は来たが南国市の財政的悩みは深いようだ。だからこそ市長はウデのみせどころで、まさにスーパーマン的活動ぶり。でも、どこかの町村みたいに執行部三役が顔を揃える日は議会の日だけで、長と助役が二人ともいた日はないというようなことのないように。いいえて妙。陣情をしても、もらえるものはもらえるし、くれないものはくれぬ。▼政府は宣伝広報活動に積極的な意欲をみせ、現在のPR強化へ本年度の十五倍予算を来年度に計上するという気の入れ方。「広報」とは、あくまで真実を周知徹底させる活動で、政府のご都合主義によつて、うまくいいくるめることではない。広報活動の効果をあげるにはまず国民の政府に対する信用が条件だ。その点では岸内閣はまだ心細い。▼市の広報も役所の一方的な〝おしらせ〟にとどまらず、市民の生の声を反映させ、市当局に耳の痛い忠言でも、どしどし取り入れるものでなければ意味はない。常に広報活動によつて市政と市民が直結しておれば、たとえ赤字財政による緊縮施策にしても市民の協力を得るのにさほど困難ではなかろう。〝ガラス張りの市政〟を口先でなく実行するためには、平素からの広報活動がなによりも大事。だが広報面には、えてして財政上のシワが寄せられがち。▼十二月の庁内人事にまつわるいろいろなうわさが乱れ飛び、慨嘆する市民の声も入つてくるが、ところでこんど職員の採用試験を、県人事委に依嘱したことはどうにか救いとなろう。